



校訓

なかよく かしく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和5年9月26日 第11号 文責 梶原 圭一



「平和のバトンタッチ」



6年生は、9月14日(木)から15日(金)にかけて長崎方面へ修学旅行に出かけました。天候の変化に悩まされた2日間でしたが、計画通りに、そしてみんな元気に活動を進めることができました。

1日目は、城山小学校での被爆体験講話から学習を始めましたが、語り部の方の平和を願うメッセージを、一人一人が食い入るように聞き、心に受け止めていました。「戦争は絶対起こしてはならない」という言葉は、子どもたちにしっかり引き継がれたように感じました。午後のフィールドワークは、グループで活動しました。本校職員が分かれてグループに付いたため、全員の学習の様子は見ることはできませんでしたが、グループに同行されたボランティアガイドさんたちから、本校の子どもたちが素晴らしい態度で学習を進めていたことを教えていただきました。また、平和集会や原爆資料館での見学態度も静かで、集中していることが伝わってきました。



2日目のハウステンボスでの活動は、残念ながら雨になり、計画通りに活動を進められなかったグループもありましたが、互いに助け合いながら行動する様子を随所で見ることができました。

6年生の子どもたちが思い出に残る2日間を過ごすことができたのは、ご家族をはじめ、今回の修学旅行に関わってくださった多くの方々の支えがあったことを忘れないでほしいと思います。そして、その感謝の気持ちを大切に、これからも学習を進めていってほしいと願っています。

◆◆地域の方の力を借りて◆◆

菊陽町の特産物に人参がありますが、3年生が総合的な学習の時間の地域学習として、人参の栽培に挑戦しています。地域の方をお迎えし、人参の種についてや育てる際に大切なことなどを教えていただいた後、実際に種を蒔く体験をしました。種が小さいため、どこに種を蒔いたのか分からなくなった子もいましたが、汗まみれになりながら活動していました。

子どもたちは、毎朝水かけをしながら、人参が生長する様子を観察しています。このように、地域の方々の力を借りながら、本校の教育活動が進められています。本当に有り難いことです。



◆◆夢の実現に向かって◆◆

8月に熊本県主催の「令和5年度(2023年度)グローバルジュニアドリーム事業」の小学生団員として、本校の6年生1名が参加しました。本事業は、ふるさと熊本に誇りを持ち、グローバルな視点から「生きる力」と思いやりとたくましさを持つ子どもの育成を図る目的で実施されています。自らこの事業に応募し、実際に台湾に出向いて現地の文化等を学びました。また、台湾の小中学生と交流を深め、たくさんの友達ができたそうで、これからも交流を続けていきたいと話してくれました。交流を通して学んだこと学んだことをまとめ、吉本町長に報告してくれました。その後、夢の実現に向けてチャレンジする素晴らしさを話していただきました。本校には、勉強面や運動面、文化面等で自分の夢の実現に向かってチャレンジしている子どもたちがたくさんいます。自分の可能性を信じ、何事にもあきらめずにチャレンジする子どもたち一人一人の頑張りを認め、ほめ、励ましていきたいと思っています。

